

2 地震 について知る

緊急地震速報が鳴った時 Point 取るべき行動



令和6年8月8日、日向灘でマグニチュード7.1の地震が発生し、小林市でも震度5弱を記録しました。地震発生時、あなたは取るべき行動を取っていましたか？

今後も、南海トラフ地震がいつ起きてもおかしくありません。マグニチュード8～9クラスの地震が今後30年以内に発生する確率は80%程度（令和7年1月時点）とされています。緊急地震速報発表から強い揺れが到達するまで数秒～数十秒しかありません。その「数秒間の心がまえ」を日頃から訓練しておきましょう！

消防庁防災マニュアル

総務省消防庁が、地震が発生した場合に場所ごとで取るべき行動を掲載しています。右の二次元コードを読み取って、地震が来る前に確認しておこう！



3 事前の備え について知る

食糧や水の備蓄、非常時持出品の準備 Point 避難場所と災害情報を常に把握

大規模災害時は、外部からの支援が届くまで時間がかかります。もしもに備えて最低3日間（できれば1週間）生活できるように備蓄しましょう！非常持出品は備蓄の一部と考え、備蓄品の中から避難生活に必要なものをリュックサック1つにまとめておきましょう！乳幼児や要介護者がいる場合は、それぞれの必需品を準備することも必要です。

災害用の備蓄品・防災グッズ



暮らしに役立つ情報を無料で配信 小林市メール配信サービス

防災情報を素早く知ることができます。右の二次元コードを読み取って空メールを送付し、届いたメールのURLをクリック。配信希望の情報を選択して登録完了です。



▲スマホ用コード

小林市総合防災マップ

小林市総合防災マップは、防災への対策やチェック項目、避難方法、各地域の避難所などをまとめています。

防災マップは危機管理課で配布しているほか、市ホームページ（右二次元コード）からも確認できます。



災害 から 命 を守るために 知ってほしいこと



毎年のように発生する大雨、台風、地震などの災害から命を守るために、今知っておくべきことがあります。「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自らの判断で避難行動を取れるようにしておきましょう！

●問＝危機管理課 TEL 23-1175



1 大雨・台風 について知る

Point 避難警戒レベルに注目



大雨や台風によって、水害や土砂崩れなどの災害が発生するおそれがあるとき、どの情報をもとに、どのタイミングで避難をしますか？

気象庁と市は、災害発生の危険度を直感的に理解し、的確な避難行動が取れるよう、避難に関する情報や防災気象情報等の防災情報を5段階の「避難警戒レベル」で示しています。右の図を覚えておき、迅速に避難行動が取れるようにしておきましょう！

命守って	レベル5 緊急安全確保	すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。ただちに安全を確保。
避難して	レベル4 避難指示	“危険な場所”から全員避難。
	レベル3 高齢者等避難	高齢者や障がいのある人は避難。それ以外の人も危険を感じたら自主避難。
逃げる準備	レベル2 大雨・洪水・高潮注意報（気象庁が発表）	
	レベル1 早期注意情報（気象庁が発表）	

停電 が起きたら…

事前に分電盤の位置を確認しましょう。通常、分電盤は玄関・台所・脱衣所・廊下の上部に設置されています。停電情報の確認には、九州電力送配電株式会社のサービスを活用ください。市役所では復旧の見込みなどについて回答はできません。

停電状況の問い合わせ先

■ 停電情報自動応答サービス
居住エリアの停電状況を自動音声で案内します（24時間対応）

☎ 0120-426-306

■ 停電情報提供アプリ
停電・復旧見込み情報をアプリから確認できます（利用料無料）



🍏 iPhone 用
🤖 Android 用

